

報告事項イ

県立高等学校のスクール・ポリシーの改定について

県立高等学校のスクール・ポリシーの改定について、別紙のとおり報告します。

令和6年6月6日

鳥取県教育委員会教育長 足 羽 英 樹

○改定理由

工業学科制御・情報科であったものを、工業学科情報工学科に変更するとともに、工業学科をくくり募集としたことを踏まえ、小学科の記載を削除した。

○改定後

◆スクール・ミッション（社会的役割）

このような意義や役割を担っています
<p>地域企業との連携による先端技術を活用した学びや教科等横断的な STEAM 教育をとおりして、優れた技術や創造性を身に付け、社会の持続的発展に貢献する「AI 技術を兼ね備えた人材」や「地域を支えるものづくり人材」の育成を目指します。</p>

◆工業学科 スクール・ポリシー

◇グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
このような力を育てます
<ul style="list-style-type: none"> ・授業や課外活動をとおりして、主体的な学習態度や実践力を育成します。 ・日々の学校生活で、互いを尊重する態度の育成と社会性の涵養を図ります。 ・地域貢献活動をとおりして、健全な心身と社会貢献精神を育成します。 ・ものづくりの専門的な知識・技術を習得します。 ・インターンシップや企業見学等をとおりして、勤労観・職業観を育成します。
◇カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
このような学びを行います
<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業の技術者や大学の先生等から、最先端の知識・技術を学ぶことができます。 ・大学進学等の進路目標にも対応した学習に取り組むことができます。 ・ものづくりの専門的な知識・技術の習得により、将来の可能性を広げる専門技術の国家資格等が取得できます。 ・AI（人工知能）、IoT（製品をインターネットでつなぐ技術）やドローンを用いた実習等の先端技術を学習することができます。 ・鳥工版STEAM（科学・技術・工学・芸術・数学の各分野）教育をとおりして、自分で考えたりお互いに話し合ったりして、課題を総合的に解決する学習に取り組むことができます。 ・スーパー工業士認定制度でAI等デジタル技術の知識を習得し、高度な生産現場に対応する新しいものづくりについて学ぶことができます。
◇アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）
このような生徒を求めます
<ul style="list-style-type: none"> ・意欲を持って学習に取り組み、入学後、教育課程に示されている教科・科目の修得を充分見込める人を求めます。 ・これまででも部活動や課外活動に意欲的に取り組んでおり、入学後も意欲的に活動する意思のある人を求めます。 ・夢を持ち、実現に向けて努力することができる人を求めます。

◆スクール・フォーカス（重点校制度における重点項目）

R4～R5	地域を支える専門人材育成重点校 地域連携重点校
R6～R7	地域を支える専門人材育成重点校 地域連携重点校 STEAM教育重点校

智頭農林高等学校

○改定理由

農業学科ふるさと創造科、森林科学科、生活環境科の3学科であったものを、農業学科生産科学科、森林科学科の2学科としたことを踏まえ、小学科ごとに記載を再整理した。

○令和7年度以降入学生用

◆スクール・ミッション（社会的役割）

このような意義や役割を担っています
<p>県内唯一の農林業の専門高校として、地域や関係機関との連携による実践的な学びや地域資源の活用による体験的な学びをとおして、専門的技術を身に付け、地域産業及び社会の発展に貢献できる人材の育成を目指します。</p>

◆農業学科（生産科学科・森林科学科）スクール・ポリシー

◇グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）
このような力を育てます
<ul style="list-style-type: none"> ・園芸作物や特産品の栽培、加工、販売に関する実践的な知識や技術を身に付けるとともに、地域と連携した体験的・探究的な学習をとおして、将来の地域産業を支え、地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。（生産科学科） ・森林に関する実践的な知識や技術を身に付けるとともに、演習林での実習や林産物の有効活用などの学習をとおして、地域の林産業を支え、地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。（森林科学科）
◇カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）
このような学びを行います
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用した質の高い専門教育に取り組み、実践力を養うとともに、生徒の学力に応じた丁寧な学習指導を行い、基礎学力の定着を図ります。（全科共通） ・農場での実習や地域と連携した体験的な活動などをとおして、野菜の栽培や食品加工品の製造について学習します。また、地域と連携した特産品の開発、草花の栽培や装飾、生活の質を向上させる植物素材の活用について学習します。（生産科学科） ・演習林での実習などをとおして、森林管理や森林環境保全、スマート林業、地域と連携した持続可能な森林の経営について学習します。また、木工機械の実習などをとおして、木材の加工と活用方法、地域と連携した木材工芸や木造建築について学習します。（森林科学科）
◇アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）
このような生徒を求めます
<ul style="list-style-type: none"> ・学科に対する興味関心が高く、日々の学習や部活動、専門分野の実習や体験活動、地域に貢献する活動に積極的に取り組む意欲のある人、将来、関連産業へ従事する意欲のある人、学校のルールを守る事ができる人を求めます。（全科共通） ・園芸作物や特産品の栽培、食品加工、地域資源の活用、地域との交流活動に興味関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める人を求めます。（生産科学科） ・森林管理や森林環境保全、スマート林業、木材工芸、木造建築、林産物の有効利用に興味関心があり、入学後も意欲的に学習に取り組める人を求めます。（森林科学科）

◆スクール・フォーカス（重点校制度における重点項目）

R4～R5	地域を支える専門人材育成重点校 地域連携重点校
R6～R7	地域を支える専門人材育成重点校 地域連携重点校

令和5年12月27日
高等学校課

1 スクール・ミッションについて（スクール・ポリシーの前提として設置者が定めるもの）

各高等学校の存在意義や、各学校が期待されている社会的役割、目指すべき学校像を示しています。

2 スクール・ポリシー（三つの方針）について（学校教育法施行規則に基づき高等学校が定めるもの）

学校の教育活動を行ううえでの教職員や在籍生徒の指針となるもので、中学生等が目的を持って高校を選択するための大切なメッセージです。

（1）グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）について

生徒の卒業後の姿を見据えて、学校教育活動を通じて生徒にどのような資質・能力を育成することを目指すのかを定めた基本的な方針です。

（2）カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）について

グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）を達成するために、どのような教育課程を編成し、実施し、学習評価を行うのかを定めた基本的な方針です。

（3）アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）について

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）とグラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）に基づく教育内容等を踏まえ、入学時に期待される生徒像を示す基本的な方針です。

3 スクール・フォーカスについて（本県独自のもの）

鳥取県教育委員会「県立高等学校重点校」制度に基づく重点項目をスクール・フォーカスとして、公表し、スクール・ミッション及びスクール・ポリシーの内容とともに、各校が重点的に取り組む教育活動等を端的に示し、特色化・魅力化の方向性等を広く発信しようとするものです。

【関係法令等】

○学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）より一部抜粋

第103条の2 高等学校は、当該高等学校、全日制の課程、定時制の課程若しくは通信制の課程又は学科ごとに、次に掲げる方針を定め、公表するものとする。

- 一 高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針
- 二 教育課程の編成及び実施に関する方針
- 三 入学者の受入れに関する方針

○鳥取県教育委員会「県立高等学校重点校」制度実施要項（平成30年度～）より一部抜粋

1 目的

各高等学校が重点的に取り組むべき項目を県教育委員会が指定（重点校指定）し、予算を手厚く配分する等の支援をすることで、各高等学校の特色化・魅力化をより一層推進するとともに、以下に掲げる本県教育施策等の実現を図る。

- I 鳥取県の「教育に関する大綱」に掲げる取組方針・施策、指標達成の実現
- II 「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針 [平成31年度～平成37年度]」の具現化
- III 「高大接続改革」への着実な対応

